

令和5年度 渡島管内ドローン活用研修会

(主催:北海道教育庁渡島教育局、協力:そらアライアンスグループ)

令和5年9月4日(月)、北海道函館水産高等学校において、標記研修会を実施しました。そらアライアンスグループを講師とし、管内の道立高等学校及び教育委員会から計26名が参加して、ドローンの教育活用や実際の操縦体験等を実施しました。



目的

管内におけるSTEAM教育やアントレプレナー教育の一層の充実及び将来のデジタル人材の育成等に向け、教員や教育委員会職員のドローン活用等についての理解を深めるとともに、管内の教科横断的な学習及び探究学習等の一層の充実を図る。

説明

- 1 「北海道のドローンの社会実装に向けて」(道総合政策部DX推進課)
- 2 「学校教育におけるドローンの活用の在り方について」(渡島教育局)
- 3 「ドローンの運用に係る法令等について」、「近年のドローンの産業利用について(動画視聴)」(そらアライアンスグループ)

ドローンに係る道の取組や学校教育におけるドローンの活用事例、法令等について説明するとともに、実際の活用状況について動画による解説もありました。

飛行実演



ドローン飛行実演(農薬散布機の模擬散布)

展示・体験



ドローン模擬体験(機体展示、シミュレータ、操縦体験)

情報提供

「ドローンに係る教育プログラム(学校教育に提供可能なプログラムについて)」(そらアライアンスグループ)

ドローン検定協会(株)による無人航空従事者試験、トイドローンによる操縦訓練、プログラミング用ドローン等について、情報提供がありました。

研究協議

テーマ「ドローンなどの教育資源を、教科横断的な学習や探究学習にどのように活用できるだろうか」に基づき、参加者がグループごとに情報共有したり、今後の方向性等について協議したりしました。

- ・道内の動きから実務での活用方法などの情報を得ることができました。今後の学校教育でどう活かすかという点で大変参考になりました。(高校)
- ・シミュレーターで操作してみましたが、結構難しかったです。今後、子どもたちの身近なものになっていくのかなと思います。(教育委員会職員)
- ・たくさんの機材を実際に見られる機会があまりないので、良い体験になった。(高校)

参加者の声